

**2021年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）**

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 映像・現代文化論研究室 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>問題Ⅰ</p> <p>日本の近現代文学、および映画全般から、体系的知識を習得している上で諸事象の問題点を正しく捉えられているかを問う。</p> <p>問題Ⅱ A</p> <p>日本近代文学に現れた恋愛について、西洋文学・西洋文化との関わりの観点から正しく論じられるか、その能力を問う。</p> <p>問題Ⅱ B</p> <p>アンドレ・バザンの理論を契機に、演劇的な演技を撮ることが虚構のまま真実性を発揮してしまった映画について、正しく議論を敷衍できるか、その能力を問う。</p>

2021年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 映像・現代文化論 全7枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 7枚、解答用紙 4枚を配付する。

- ・ 解答は問題Iと問題IIについて、別々の解答用紙に記入すること。
 - ・ 問題IIは、A・Bの中から一つを選んで解答すること。
-

問題I

次の1～6の中から二つを選択し、選択番号を明記した上で解答しなさい（各400字程度）。

1. 明治戯作の作家・作品名を複数挙げ、それらの文芸的な特徴を説明しなさい。
2. プロレタリア作家の転向について、中野重治を例に挙げて論じなさい。
3. 女性同性愛を描いた、明治・大正・昭和期の日本語の文学作品を複数挙げて論じなさい。
4. 第二次世界大戦中の日本におけるプロパガンダ映画について、具体的な映画作品を挙げて論じなさい。
5. アメリカ映画における1950年代の「メソッド演技」について、具体的な映画作品を挙げて述べなさい。
6. デジタルカメラが支配的になったことで、ドキュメンタリー映画に起こった変化について説明しなさい。

問題Ⅱ A

次の文章は、平石典子『煩悶青年と女学生の文学誌——「西洋」を読み替えて』（新曜社、2012年）の一節である（設問の都合で一部を省略した）。（1）この文章の内容を要約しなさい（250字程度）。（2）日本近代文学に現れた恋愛について、問題文との関連に留意しつつ、西洋文学・西洋文化との関わりの観点から、具体的な作家・作品を挙げて論じなさい（800字程度）。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 平石典子『煩悶青年と女学生の文学誌——「西洋」を読み替えて』（新曜社、2012年2月）
96-101頁

問題II B

次の文章は、濱口竜介「曖昧な映画の書き手」（『アンドレ・バザン研究』第三号、2019年、アンドレ・バザン研究会）の一節である（設問の都合で一部を省略した）。（1）この文章の内容を要約しなさい（250字程度）。（2）演劇的な演技を撮ることが虚構のまま真実性を発揮してしまった映画について、具体例を挙げて論じなさい（800字程度）。

*** 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。**

出典 濱口竜介「曖昧な映画の書き手」（『アンドレ・バザン研究』第三号、2019年3月、アンドレ・バザン研究会）55-58頁

